

3 調査推進のための各種活動

(1) 広報・イベント活動

ア ニュースレターの発行

2020年夏号(令和2年6月)及び2020年秋号(令和2年9月)、2020年冬号(令和2年12月)、2021年春号(令和3年3月)の4回発行した。「エコチル調査でわかったこと」や「おしえて先生」などの子育てに役立つ情報や、初めての試みとして「エコチルキッズへおすすめスポット紹介!」と題し、親子で楽しめる内容を提供した。

(参加者あて約11,970部、市町村等関係機関あて約910部、計12,880部発送)

2021年春号(令和3年3月発行)
2020年夏号から冬号は、資料編を参照

イ 活動報告書の発行

エコチル調査の毎年の活動状況を記録するとともに、調査にご協力いただいている行政機関、医療機関、教育関係機関など各分野の関係者への配布を通じ、調査への一層の理解促進と円滑な事業推進を図ることを目的とする。

(ア)今年度の実績

令和元年度活動報告書を500部作成し、7月に地域運営協議会委員を含む関係機関・団体等に配布した。

なお、令和2年度の作成に向け、分かり易い表現・構成、デザインの工夫、フルカラー化等を中心にリニューアルを図るため、執筆担当職員で構成するワーキンググループを開催し、全面的な見直しを進めた。

※ワーキンググループ開催：第1回R2.10.23、第2回R3.1.29、第3回R3.2.17

(イ)これまでの実績

平成22、23、24年度活動報告書(初回)、平成25年度以後毎年度発行

ウ メールマガジンの配信

学内の教職員及び学生向けに、エコチル調査のデータ集計結果や論文などを紹介する「情報発信：エコチル調査」を計12回配信

発行	配信日	トピック	論文紹介(筆頭著者所属名)
第35号	令和2年4月30日	新型コロナウイルス感染症のエコチル調査への影響	1歳までの熱性けいれん発症リスクと母乳栄養の関連性について(高知ユニットセンター)
第36号	令和2年5月28日	エコチル調査の全国データを用いた論文	妊娠中の抗生剤使用と1歳時点でのアトピー性皮膚炎の関連について(千葉ユニットセンター)
第37号	令和2年6月25日	対面調査再開の準備を進めています	妊娠前・妊娠初期における朝食欠食と妊娠糖尿病の発症との関連について(大阪ユニットセンター)
第38号	令和2年7月30日	エコチル調査福島県地域運営協議会を书面開催としました	マルチビタミンサプリメント摂取と口唇口蓋裂発症との関連：子どもの健康と環境に関する全国調査(神奈川ユニットセンター)
第39号	令和2年8月27日	8月より対面調査を再開しました	全身性エリテマトーデス(SLE)合併妊娠における産科合併症のリスク(福島ユニットセンター)
第40号	令和2年9月24日	ニューズレター“エコチル★ふくしま通信2020年秋号”を発刊しました	乳児期に施行した全身麻酔下での外科手術と1歳時点の発達との関連(兵庫ユニットセンター)
第41号	令和2年10月29日		妊娠前カルシウム摂取量と妊娠高血圧症候群の発症の関連についての調査(福島ユニットセンター)
第42号	令和2年11月26日		妊娠期の母親のエネルギー、主要栄養素及びビタミンの摂取と児の出生時体格の関連(大阪ユニットセンター)
第43号	令和2年12月24日		妊娠24週未満に測定されたヘモグロビンA _{1c} と周産期予後：エコチル調査(宮城ユニットセンター)
第44号	令和3年1月28日	エコチル調査10周年記念シンポジウムがオンラインで開催されます	エコチル調査における妊娠期の母親のエネルギー、主要栄養素及びビタミンの摂取と児の出生時体格の関連(大阪ユニットセンター)
第45号	令和3年2月25日	学内報告会をオンラインで開催します	妊娠中の体重増加と胎児アシドーシスの関連(福島ユニットセンター)
第46号	令和3年3月25日	参加者が全員小学生になります	妊娠前ナトリウム摂取と妊娠高血圧症候群の関連について(福島ユニットセンター)

エ イベント等の開催

(ア)環境セミナーの開催

第3回エコチル★ふくしま環境セミナーの実施

【開催日時】：令和3年2月7日(日) オンライン開催
14:00~15:30

【対象者】：エコチル調査参加者

【参加者数】：11組26名

【講師】：国立研究開発法人 国立環境研究所
地球環境研究センター 横島 徳太 先生

【ファシリテーター】：国立研究開発法人 国立環境研究所
地球環境研究センター 岩崎 茜さん
同 前田 和さん

【目的】：調査参加者の環境問題に対する関心などにお応えすることを目的に開催した。

【内容】：テーマ「そうだったのか！地球温暖化のほんとうのこと？」

近年、世界規模で問題視されている地球温暖化による環境問題について、スライドやクイズを用いたわかりやすい講演とファシリテーターを中心としたグループワークが行われた。

福島ユニットセンター初のオンラインでのイベント開催となり、県外からの参加もあった。参加者からは、「気軽に参加できた」「家族と一緒に参加できて良かった」などオンライン開催について前向きなご意見も頂いた。

また講演内容については「温暖化を防ぐためにできることを実行していきたい」「グループワークでは和やかに会を進行してくださり、緊張がほぐれました」「少し難しかったけれど身近に温暖化の問題があることを知りました」などの感想が寄せられた。



(ウ)エコチルふれあい会の開催

【目的】①エコチル調査参加者親子・参加者同士そして参加者と福島ユニットセンターとのコミュニケーションを深める。②参加者が、エコチル調査を長期間にわたり協力していただくためのモチベーションを高める

【開催時期】子どもの成長発達段階で重要といわれている時期に合わせて実施
県内全域で平成24年度から実施している。

2019年度は、参加者を対象とした親子ふれあい会を5回実施した。

【2020年度実績】

2020年度は10月25日(日)福島市体育館(NCVふくしまアリーナ)

12月13日(日)郡山市東部体育館で、「親子でキッズダンス」を計画し準備を進めたが、コロナウイルス感染拡大傾向のため中止した。

【2019年度実績】

☆親子ふれあい会(全県全年齢対象) 参加者合計94組 子ども168名 親143名

日時	開催地	会場	内容	参加者親	参加者子ども
2019年 6月16日(日)	いわき	いわき市産業創造館 企画展示ホールA+B (いわき市ラトブ内)	親子でキッズダンス	18名	24名
7月7日(日)	会津	国立磐梯青少年交流の家 第6研修室+多目的室	森のクラフトと屋外遊び	31名	31名
11月10日(日)	県南	白河市まほろん (福島県文化財センター白河館) 実習室・研修室	ミニ土器・ミニはにわをつくろう!	39名	45名
12月1日(日)	県中	郡山市ミュージカル がくと館	風船ロケットをつくろう!	36名	44名
12月24日(火)	県北	NCVふくしまアリーナ メインアリーナ・研修室	親子でキッズダンス	19名	24名



2019年度実施 キッズダンスを親子で一緒に楽しみました。



2019年度実施 森のクラフトと屋外遊び 自然の中で遊び、エコクラフトに取り組みました。



(エ)子育て講演会&ファミリーコンサートの実施

①開催目的

福島ユニットセンターに属する参加者へのフォローアップ率維持及び県民に対するエコチル調査の認知度向上及び協力体制を構築する。

②開催状況

令和2年度は令和2年9月6日(日)に福島市内で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

オ 市町村イベントへの参加

エコチル調査の周知及び調査に対する理解を促す目的で、市町村が主催するイベントに参加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市町村イベントが中止されたために今年度については不参加となった。

カ その他の活動

(ア)グッズの配布

エコチル調査に継続参加していただくことを主たる目的として、全調査参加者にオリジナルカレンダー及びクリアファイル、小学校の新入児童には入学お祝いとしてエコチル名入り鉛筆をそれぞれ贈呈した。また、自然災害等により被災された参加者の方にお見舞いとしてグッズを進呈した。

(2) 地域運営協議会の開催

ア 開催目的

エコチル調査の円滑な遂行を図るために、福島県地域運営協議会の他、県内地域ごとに4つの協議会(県北・相双、県中・県南、会津、いわき)を設置し、各地域の医療、保育・教育、行政(市町村)の約170名の方々に委員委嘱をしている。調査実績や今後の調査に関する情報発信、普及啓発を行うとともに、各方面の様々なご意見を伺うことを目的とし情報交流の推進を図る。

イ 開催状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月に福島県地域運営協議会、10月に各地域運営協議会(県北・相双地域運営協議会、県中・県南地域運営協議会、会津地域運営協議会、いわき地域運営協議会)を书面開催により実施した。

ウ 議事内容

- 全国のエコチル調査の現状について(コアセンター)
- 本県のエコチル調査の実施状況、参加者への調査結果の返却等、参加率維持のための取組、学術活動、環境省からの第三次中間評価、対面調査における感染症対策について(福島ユニットセンター)

エ 意見聴取

书面開催に伴い、議事内容等についての意見聴取及び今後の協力体制についてアンケートを実施した。調査に対する期待や要望について、概ね好意的なご意見が多かった。PDCAの評価、福島県にとっても重要な調査なので、調査の継続に期待する声があった。

(3) 関係機関訪問

訪問を通じてエコチル調査への理解と協力を求めるのが目的。

ア 市町村訪問

(ア)今年度の実績

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年9月から10月にかけて実施している訪問は行わなかったが、地域運営協議会の書面開催を通じて、活動状況等をお知らせし、理解と協力を求めた。

(イ)これまでの実績

調査開始時には、県内全市町村を訪問し、調査に対する理解と協力を求めた。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故によりリクルートを中断した南相馬市及び双葉郡8町村に対しては、調査開始時に対象地域であったことから、毎年訪問し、子どもの生活環境などを聴取するとともに、調査推進等について支援を依頼してきた。

イ 協力医療機関訪問

令和元年より開始した6歳詳細調査にご協力いただいている医療機関を訪問した。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い令和2年2月28日より中止していた医学的検査の再開に向けて、当ユニットセンターの感染対策方針の説明と、協力医療機関の方針や要望を伺い情報共有を図る目的で実施した。令和2年7月から8月にかけて32施設の内、協力可能と回答をいただいた26施設を訪問した。

また、令和3年度から始まる8歳詳細調査開始に向けて協力医療機関を拡大するため、新規の2施設を令和3年2月に訪問した。

ウ 教育関連機関訪問

(ア)今年度の実績

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年5月から6月にかけて実施している訪問は行わなかったが、地域運営協議会の書面開催を通じて、活動状況等をお知らせし、理解と協力を求めた。

(イ)これまでの実績

平成23年度に出生した子どもたちが平成30年度から小学校入学を迎えたため、平成28年度から、福島県教育事務所及び福島県小学校長会の関係者を訪問し、エコチル調査について説明し、調査への理解と協力を求めた。

毎年、訪問時には、地域別に設置している福島県地域運営協議会委員就任について、各教育事務所長及び小学校長会役員の方々に依頼し、承諾をいただいている。

(4) 各種研修の実施

ア 代行研修

令和2年度は、ユニットセンター職員等36名に対し、センター長が講師として、「エコチル調査の概要、疫学研究の基本、環境、化学物質と健康」等の内容で入職時の研修を8回(令和2年4月3日、6月2日、9月2日、15日、29日、12月2日、令和3年1月5日、2月1日)実施した。

これまでに実施した医療機関、市町村、ユニットセンター職員等に対する研修は、累計79回、受講者は累計705名となった。

イ 職員研修

全職員を対象に次の研修を実施した。

(ア) 令和2年4月14日／15日、10月21日／27日

男女共同参画の推進(男女共同参画推進本部所管)

(イ) 令和2年6月28日

リスク管理、個人情報の取扱い及び情報管理、質問票回収率向上の取組み、学童期検査について

(ウ) 令和3年2月3日

リスク管理、個人情報の取扱い及び情報管理、乳歯調査、学童期検査、詳細調査について
教養講座「組織として仕事を進めるうえでの合意形成」
(ミライズ株式会社 高橋理里子先生)

ウ その他の研修

上記研修の他、コアセンターや学内他機関等主催の各種研修にも積極的に参加した。

<参加した主な研修>

開催日	研修名	所管
令和2年8月31日	令和2年度『感染管理自己学習コース』(web)	感染制御部
令和2年9月28日 ～10月27日	AED研修(YouTube動画視聴)	福島ユニットセンター
令和2年10月19日 ～11月9日	医療安全・感染管理・医療情報・災害医療合同 研修会(web)	医療安全管理部
令和2年12月3日	令和2年度エコチル調査管理者・スタッフ研修 会(web)	コアセンター
令和2年12月4日 ～令和3年1月18日	第2回医療安全管理研修会(web)	医療安全管理部
令和3年2月1日 ～19日	令和2年度コンプライアンス研修(web)	医大コンプライアンス委員会
令和3年2月1日 ～3月18日	令和2年度情報セキュリティ特別専門研修 (web)	医大附属学術情報センター
令和3年2月26日	リスクコミュニケーションに関する研修会 (web)	コアセンター、三菱総合研究所